

支 部 情 報

熊毛支部

つながりを深め、

学校経営に活力を

熊毛支部小学校長会は、田布施町四校、平生町二校、上関町二校の八校で構成され、月一回程度の定例研修会をもっている。各町とも一つの中学校に進学しているため、地域協育ネットも各町一つであり、小中連携もよく図られている。また、熊毛郡小学校教育研究会が三町の小学校で構成されているため、教職員の研修体制についても連携が図られている。

本支部は「校長としてどういう役割を果たしていくか」という軸がぶれないように研修に取り組んでいる。平成二十五年からの二年間は、「基礎学力を保障し、他者とのかわりを通り、知性を育むために」校長のなすべき役割について研究に取



り組んだ。定例研修会では各校の特色ある取組や研究成果を持ち寄り、協議を重ねた。そして平成二十六年度秋季研究大会において、「知性・創造性を育むカリキュラムマネジメント」を研究課題とする分科会において提案を行った。

研究の成果としては、以下の三点である。目標・手だての明示や教職員参画の場の設定、成果を実感させる機会保障などによって、教職員の意識改革を図ること。二つ目は、取組の共有化を図り、連携の実効性を高めて学力の水準化を図るために校長間の連携を密にすること。三つ目は家庭・地域へ校長のメッセージを届けることである。

支部の今後の課題としては、コミュニティ・スクールを経営できる力をもつこと、校種間連携を図ること、進行管理に努めること、データを使って人を動かすことの四点である。

本熊毛支部は豊かな環境と人材に恵まれており、各校が特色ある教育を思い切って実践している。町をまたがった諸事情を抱えてはいるが、校長同士のつながりを深め、それぞれの学校経営の実情を開きながら、互いに活力を与えあう校長として育ちあっていることと精進している支部である。

(上関小学校 伊藤 隆)

支 部 情 報

支 部 情 報

岩国和木支部

豊かな心と

未来を拓く力を育む

学校教育の推進

岩国・和木支部は、三十五の小学校で構成されている。一市七町村の合併から十年、合併当時は四十校を数えたが、本年度は三十五校に減少している。しかし、県内では下関支部に続き山口支部と並ぶ大所帯である。

岩国・和木支部では、広域にわたって学校が存在するために、
○旧岩国市・和木町・由宇町ブロック

○玖北地区ブロック
(美川町・美和町・錦町・本郷村)

○玖西地区ブロック
(玖珂町・周東町)

の三ブロック構成で、年間九回の定例研修会と三回のブロック別研修会を行っている。本年度は、全連小山口大会において、岩国・和木支部の玖西地区ブロックが代表で、「明確なビジョンに基づく創意ある学校経営の推進と学校の課題を解決するための校長の役割と指導性」と題して、提案発表することになった。ブロック別研修会での内容を定例研修会において吟味し、

他のブロックでの学校経営ビジョンの浸透状況のとりえ方についての情報交換を行うことで、より本支部の特性に応じた研修や意見交換ができ、研修が深まったものになっている。岩国市・和木支部での研修内容を、全国大会で提案発表することで、この取組が全国での取組に広がっていくことと、信じている。

また、本市では、コミュニティ・スクール、地域協育ネットを活用した「地域とともにある学校づくりの促進」を取組の重点として掲げている。市内の各小中学校の七割が、学校運営協議会を立ち上げ、より開かれた学校づくりが推し進められている。本年度中には市内全小中学校において、設置される予定である。学校により、抱える課題や地域の特性により事情は異なっているが、それぞれの置かれた状況の中で、校長の明確なビジョンとリーダーシップのもと学校運営協議会と連携を図っていききたい。そして、児童の豊かな心の醸成と未来を拓く力を育むため、さらには確かな学力の定着と向上に向けて



(藤河小学校 片山伸二)